



あかねだい

学校便り 1月号
平成29年 1月27日
横浜市立あかね台中学校

学校教育目標 『学ぶ・鍛える・共に生きる』

- (1) 生活や学習の基礎基本を通して、主体的に課題を見だし解決する力を身につけた生徒を育てます。【知】
- (2) 礼儀や規律を大切に、夢や希望、感謝の心をもった生徒を育てます。【徳】
- (3) 心身共に健康で、自他の生命や自然を尊重する生徒を育てます。【体】
- (4) 社会の一員としての自覚と責任をもち、よりよい社会を実現しようとする生徒を育てます。【公】
- (5) 体験を通して自らの可能性を知り、広い視野に立ったものの見方や考え方を身につけた生徒を育てます。【開】

挨拶・感謝・思いやり

「共に生きる」心を大切にできる学校を目指して！

校長 濱本 貴康



◀
オニグルミ

平成29年・2017年がスタートしました。お正月は、天候にも恵まれ、穏やかな新春を迎えることができました。年の初めにあたり、保護者・地域の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。本年も、あかね台中学校の生徒が健やかに成長できますように、教職員一同、教育活動の成果と課題を振り返り、今後も取り組んで参りたいと思います。

今年はいじめの学校朝会（1月10日）で、次のことを生徒に話しました。

新しい年の始まりは、大切な節目です。皆さん一人ひとりが新たな決意と目標を持って過ごしてほしいと思います。

さて、お正月の風物詩「箱根駅伝」では、今年も、様々なドラマがありました。「体調が急変し、それでも必死で走る選手が、チームメートの汗が染み込んだ襷を何度もさわり、力をもらいながら前に前に進んでいく姿。」「辛い走りをしてきた選手の後ろから迫ってきた選手が、抜く時にポンとその選手の背中をたたいた時（「一緒に行こう。」という合図だったのか？）、辛そうに走っていた選手が、もう一度頑張っついでいていくことができた姿。」人は人に応援してもらえると、目に見えない力を発揮することができることを証明してくれました。

また、私は、全国高校サッカー選手権大会での青森山田高校の主将の選手宣誓に感動しました。「事故や災害で、サッカーを続けられない選手がいる。この立場に立てる幸せに感謝する。」「東日本大震災の際、このままサッカーを続けていいか迷った友人がいたが、周囲の皆さんに助けられ、背中を押され今がある。」と語り、更に、11月コロンビアで起こった旅客機墜落事故で犠牲になった元Jリーガーに「彼らのプレーから、時を忘れるほどの感動をもらった。」と追悼の意をしめしたことに。

今年度も残り3カ月、3年生は進路決定まであと一息です。万全な体調で臨んでください。その間、お互いに切磋琢磨して、自己を高める友人関係を作って下さい。今は実感がないかもしれませんが、中学の頃に知り合った友は生涯の友となります。2年生・1年生は、今年度のまとめの時期をしっかりと過ごして、来年度につなげて下さい。

勉強や運動はもちろんですが、皆さん一人ひとりが仲間と力をあわせ、行事や学年、学級での活動を通して、「学ぶ・鍛える・共に生きる」という学校目標を実現してください。

新しい年を迎えて、皆さんが、更に自分自身の向上に努め、充実した日々を送れることを期待しています。

保護者、地域の皆様、あかね台中学校では、生徒一人ひとりが学力や体力などに自分自身の力を高め、仲間との絆を学び、ルールや思いやりを尊重しながら、社会を生き抜く力を身に付けるために、今後も様々な取組をしていきたいと考えています。

本年も昨年と同様、様々な場面で、ご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

▶
カンツバキ



人権講演会

11月25日に「人権講演会」が生徒・保護者・地域の方々を対象に「全国ユニバーサル運営協議会」の紀薫子さんを講師として『ユニバーサル社会を考える』というテーマのもと、講演会が開催されました。

事前学習として各クラスでグループワークをしました。学校に「もし小さなお子様連れの方が訪問されたら。」「日本語が分からない外国の方が訪問されたら。」など様々なケースを発問し、「どんなことに困りそうか。」を考え解決策も合わせて話し合いました。各班で考えたことをクラス全体の前で発表し共有しました。「駅みたいに、いくつかの言語を使った表示にする。」「小さな子を安心させるために、大人がいる場所はここだと分かるような表示にする。」などの工夫点をあげていました。小さな子の目線に合わせて話す等、行動面に目を向けている班もありました。お互いの考えや意見に「なるほど」「自分たちが、その課題だったらどう考えるかな。」と共有したり、自分たちに置き換えたりして考えを広げていました。

クラスでの事前学習を踏まえての講演会では、さらに『年齢、性別、障害、文化などの違いにかかわらず、だれもが地域社会の一員として支えあうなかで安心して暮らし、一人ひとりが持てる力を発揮して元気に活動できる社会』であることを学びました。また福祉委員とともに『実践』を交えて、白内障の方の視野を体験したり、車いすの広げ方やたみ方を実践したり、また配慮すべき点についても丁寧に教えていただきました。実践してくれた福祉委員は様々な感想を述べていました。白内障の方の視野を体験し階段の上り下りを介助してもらった生徒が「思っていたよりも、すごく不安な気持ちになることが分かった。」と言っていたことや車いす体験でも「動くよ、と伝えてくれることで安心した。」という言葉が出ていたことが印象的でした。

実践した福祉委員も、見ていた全校生徒も『誰もが安心して生活するために大事なこと』を具体的に考える良いきっかけになりました。

3年生 模擬面接

1月12日（木）に進路学習・キャリア教育の一環で行われている「3年生 模擬面接」が今年も実施されました。この模擬面接は、地域の方を面接官にお招きして3年生の模擬面接を行っていただくものです。3年生で実施をするのは、義務教育を終え、より高い意識をもって社会に巣立つためです。

実際に「面接シート」を事前に読んでいただき、本番さながらに面接をしていただきます。とても丁寧にお話を聴いてくださり、アドバイスをくださったり、緊張する3年生を温かく受け入れてくださいました。

3年生は真剣に自分たちと向き合ってくださいる面接官の方々に感謝の気持ちと、心強さを感じていました。この経験を生かして、さらに自分と向き合い『自分の道』を切り拓いてほしいと思います。

5年目を迎えたこの行事に毎年参加してくださった面接官の方、新しく参加してくださった方、お互いに協力し合って活動することができたことを実感してくださっていました。これからも学校・地域家庭が連携してあかね台中学校の生徒をサポートしていけたら素晴らしいと思います。どうぞ、今後ともよろしくお願いたします。ご協力いただきました保護者の皆さまも本当にありがとうございました。

校内書初め展

1月10日から27日まで、校内書初め展が開催されていました。一人ひとり自分の作品と向き合い、素晴らしい作品が出そろいました。端正に一文字ずつ書いたもの。紙いっぱいに勢いあふれるもの。流麗で美しい線質のもの。どれも作者の直筆である尊さや筆使いに温かさを感じます。

入賞作品もそうでない作品も、どれもかけがえのない作品です。ぜひ大切にしてほしいと思います。

【横浜市立学校 総合文化祭 中学校書写展】

去る1月18日～23日に横浜市民ギャラリーにて「横浜市立学校 総合文化祭 中学校書写展」が開催されていました。「総合文化祭」とは平素の学習の成果としての優秀な作品や、培われた力を発揮したものを代表作品として出品し、一同に展示するものです。

3学年外部講師の方による講演

3年生の卒業を間近に控えた特別時間割の午前中に、外部講師をお招きしての講演を次のように予定しております。ご都合よろしければご参加ください。詳細は後日配布します。

2月27日（月）地域を知る	～奈良地区連合自治会 関根宏一会長による講演
3月 1日（水）命の授業	～“としの助産院”野口としの先生による講演
3月 2日（木）救命救急講習	～青葉消防署奈良出張所署員の方や消防団の方による講習
3月 3日（金）薬物乱用防止教室	～本校学校医 瀬谷雅行薬剤師による講演

部活動等の記録

★サッカー部

横浜 A ブロック予選 準優勝 (県大会出場・日産スタジアム杯出場)
神奈川県中学校サッカー大会 第3位

★吹奏楽部

神奈川県アンサンブルコンテスト (2016.12.17)

木管弦楽八重奏

*1/29 茨城県市民文化センターにて東関東アンサンブルコンテスト

★バドミントン部

青葉区大会 男子シングルス 第3位⇒市大会出場
男子ダブルス 優勝⇒市大会出場
第3位⇒市大会出場
女子シングルス 第3位⇒市大会出場
女子ダブルス 第5位⇒市大会出場
第9位⇒市大会出場

横浜市中学校バドミントン大会

女子シングルス 第3位⇒神奈川県大会出場

【横浜市大会予選通過者⇒神奈川県大会出場】

女子ダブルス ⇒神奈川県大会出場

男子シングルス ⇒神奈川県大会出場

男子ダブルス ⇒神奈川県大会出場

★音楽部

リコーダーコンテスト東京大会 (2016.12.25.)

中学生の部 重奏の部 二重奏 金賞

中学生の部 重奏の部 四重奏 金賞

いずれも全日本リコーダーコンテスト (3/26) 出場権獲得

★女子バレーボール部

第2回 横浜市教化リーグ 2部リーグ (2位)・・・横浜市ベスト8相当

★卓球部 12/26 全横浜少年卓球大会 ブロック第3位